

家庭内での女性の権利と地位

Elizabeth Francina Negi さん (インド)

人間は、雌雄どちらかとして生まれてきます。それを男性、女性へと仕上げていくのは社会と文化です。私たちは、性別、人種、階級、宗教、経済状況、年齢などの影響を受け、アイデンティティーを形成してゆきます。今日の世界で女性は、貧困、社会の崩解、環境悪化からくる苦勞を背負っています。現在の状況は、女性の生活に影響を与えている一連の複雑な状況に起因しています。社会機構の統合と崩壊の過程を経て、今日の社会構造が生まれました。それは家族の形態と仕組み、言語、流動性、教育レベル、労働力の配分と分業、就業環境等、国民の基本生活様式に影響を与えています。社会と家族の構造、それらすべては女性と子どもに密接な関わりを持っており、そこでは問題となりうる変化が起きています。

女性には大変な重荷がのしかかっており、女性の人権問題は緊急を要する課題です。一方、手段を得ることもできず、社会で公的な貢献をすることができない、という状況があります。それは、問題提起すべき文化的・社会的慣習に根差しています。今日のインドは多くの問題を抱えています。多くの人が、女子の間引きなど存在しないふりをしています。それは、現在においては裕福な家庭の女児墮胎という形態で現れています。持参金にまつわる死は、インド社会の代表的な問題です。婦女暴行もめずらしいことではなくなっています。身分制度の衝突であれ、親子間暴力、学内暴力であれ、また、集会で暴徒化したためであれ、あらゆる形のもめごとで攻撃の対象になるのは女性なのです。

女性に関する問題で変化すべき重要なもののひとつとして、家庭内での女性の役割です。女性は家庭の中で伝統的な役割を負わされています。女性や子どもは、男性から経済的な施しを受けるだけの存在ではありません。たとえ経済的対価は伴わないにしても、女性の仕事を社会的に目に見えるものにする必要があります。女性や子どもが所帯にもたらず経済的貢献を、金銭に換えるといくらかに値するのか数字で表す必要があります。そうすれば、女性が家族の富や財産を利用したり、管理したり、所有したりすることに対してもっと理解されるようになるでしょう。行動を変化させ、昔からの俗説を打ち砕き、女性が社会で果たしている役割に、前向きの理解を得るようにすることが大切です。

女性は、たとえ学歴があっても、決定権も指導力ももたない従属的な地位に追いやられます。最も価値ある道具、すなわち「力」が女性から奪い取られているのです。女性は施しを受けるだけのものではなく、開発を支える積極的なパートナーであることを認めることが、女性のエンパワーメント過程の第一段階です。いまや女性が意思決定者として、また指導者として立ち上がるべきなのです。

最下層の貧困状態にある女性たちが、積極的に自分たちでグループを組織する例が増えて
います。自助グループ（SHG）システムは、効果的な組織であることがわかってきまし
た。SHGによって、女性たちは徐々に搾取や隔離から脱し、自分たちの手で経済力を持
つ機会が与えられています。近年政府は、女性の収入創出プロジェクトに対してより積極
的な理解を示すようになり、多くのNGOと共同で取組んでいます。政府と地方レベルの
NGOが、国際機関の支援を得ている取組みとして、小規模会社の起業があります。この
活動が主な収入源になっているわけではありませんが、経済参加によって女性たちは確か
な力を手にすることができ、特にSHGの努力で立ち上げた企業によって、女性たちは資
産を獲得し、管理することができています。これらを支援しているのは、職業訓練や経営
教育、それにグループが小規模会社組合を設立するのに必要な、設備、材料、家畜の購入
のための小企業補助金・貸付金です。このような小額融資、特に貸付を組むための連絡業
務には、地元のNGOが重要な役割を果たしています。貸付金の利用をうながすために、
政府はNGOの協力を得て、小額融資事業を多くの人に知ってもらう環境づくりに積極的
に取組んでいます。

津波の被害を受けた地域の、その後の生活再建は多くの場合、このコンセプトにのっ
って行なわれました。チェンナイ市など、火事や洪水などの深刻な災害に見舞われた土地
に住む家庭が、この取組みによって立ち直ることができました。学校に行かず家のために
稼がなければならない子どもを減らし、家庭（特に女性）を金貸しへの依存から切り離し、
女性の貧困や脆弱(ぜいじゃく)さを軽減し、基礎的な経済・市場戦略について女性に情報
を与え教育する。こういった問題を解決していく手段となりえるため、このような収入創出
活動は開発プロセスにとって必須のものです。

特に被災した地域社会で、かつてないほど女性たちが経済的権利を求めています。その
基盤となっているのがSHG運動だと言えるでしょう。現在この取組みは、生活問題に対
処するだけでなく、戦略的なジェンダー問題の取組みとしても目が向けられています。